







# 警察より

## 交通史以来の最高記録生れる

### 交通事故の実態

度管署内29年取

### 一、交通事故発生の状況

交通事故は当事者双方の原因によつて生ずる場合が多いのであります。

(四) 幼児の路上遊戯

(五) 車馬の直前直後の横断

(四六%)

(四六%)

(二十三件、全体の二〇%)

道路別に分けますと、交

通量の多い国道、県道上に多

く、しかも見透しのよい直

線道路上に多く発生して

います。

事故は何といつても、勿論のことあります。

事故による死傷者の年令

令は、六才未満の幼児が

全体の一五%を占め、次

いで一大才一十九才、二

〇才一二四才、五〇才

五四才までの順となつて

あります。

三才一五才までの少年

は、僅か一名でその順位

は最も低く、尚、女より

男の方が圧倒的に多く、

全体の六一%を占めてい

ることも、注目される

ことがあります。

因を作つていてることにも

思ひを寄せねばなりません。

第一表に掲げました発

生件数を見ますと、一月

は、何れも二月をの

より五月までは二月をの

ぞいて昨年が遙に上回っ

ていますが、その反面六

月から八月までの三ヶ月

は、何れも本年が多く発

生しております。

この原因を検討してみ

ますと、本年は近年稀な

猛暑であつたため自動車

の避暑を求めたしたこと

も最も大きな直接の原因

としましては、

即ち自動車の急激な増

加、或はスピード化に相

反して道路の表面が悪く

なること、昨年の同期に比し事

件数が増大していると

いうべきであります。

このことは要するに

量的には減少しながら

見られると思います。

五月以降急激に増加が

してあります。事故によるものであります。

これは一月にバスによ

る事故が発生している

ためこのような数字が

見られると思います。

五月以降急激に増加が

してあります。

所と時刻

に多いことは、勿論のこと

とあります。

これをお考へにな

ついるでしようが、多

くの事故には必ずといって

よい歩行者の法規

を出していることです

と、昨年は、一件につ

りも概ね八倍にも上昇

してあります。

これは第一表に

表の件数と比較します

と、今年は、一件につ

りも概ね八倍にも上昇

してあります。